

巡回バス

JR川崎駅西口⇒川崎幸病院⇒川崎幸クリニックの巡回バスは、土曜午後、祝日も運行しています。なお、日曜日は運行しません。また外来循環ミニバスも運行しています。



日曜は運行していません。

時	川崎駅西口発	川崎幸病院発	川崎幸クリニック発
7	00 20 40	10 30 50	15 35 55
8	00 20 40	10 30 50	15 35 55
9	00 20 40	10 30 50	15 35 55
10	00 20 40	10 30 50	15 35 55
11	00 20 40	10 30 50	15 35 55
12	00 20 40	10 30 50	15 35 55
13	00 20 40	10 30 50	15 35 55
14	00 20 40	10 30 50	15 35 55
15	00 20 40	10 30 50	15 35 55
16	00 20 40	10 30 50	15 35 55
17	00 20 40	10 30 50	15 35 55
18	00 20 40	10 30 50	15 35 55
19	00 20 40	10 30 50	15 35 55
20		10 (川崎駅西口行)	

外来循環ミニバス



土曜午後・日曜・祝日は運行していません。

月曜日～金曜日	土曜日
始発 8時15分(川崎駅西口発)	始発 8時15分(川崎駅西口発)
毎時 15分と 50分に川崎駅西口を出発	
最終 16時15分(川崎駅西口発)	最終 12時15分(川崎駅西口発)

1 周約 25 分～ 30 分間の循環運行

※ご利用される方々の状況により、所要時間が遅れる場合があります。

川崎クリニックシャトルバス

JR川崎駅の東口、西口の2カ所から



運行は月～土曜日(祝日含む)、
日曜日は運行していません。

川崎クリニック⇄西口

時	川崎クリニック発 川崎駅西口行	川崎駅西口発 川崎クリニック行
8		15 45
9	30	15 45
10	00 30	15 45
11	00 (30)*	15
12	(00)* (30)*	
13	00 30	15 45
14	00 30	15 45
15	00	15

土曜・祝日は運行していません。

※利用者がいない場合は運休となります。

川崎クリニック⇄東口

時	川崎クリニック発 川崎駅東口行	川崎駅東口発 川崎クリニック行
8	50	00 20 40
9	10 30	00 20 40
10～12	この時間は運行していません	
13	00 20 40	10 30 50
14	00 20 40	10 30 50
15	00 20 40	10 30

土曜・祝日は運行していません。

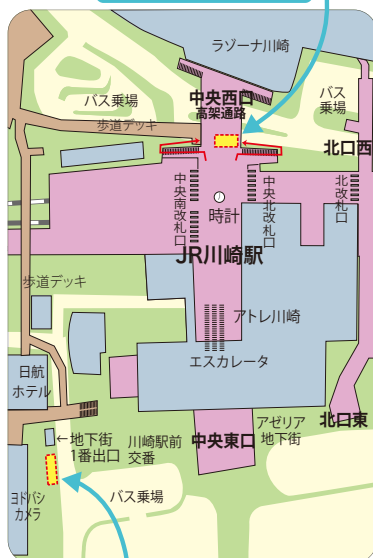
※川崎クリニック直通です。

川崎幸病院・川崎幸クリニックには行きませんのでご注意ください。

※定員9名のワンボックスカーです。



1F・西口
シャトルバス乗場
(一般車乗降場)

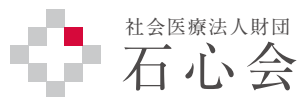


東口
シャトルバス乗場
(一般車乗降場)

石心会グループ神奈川地区

救急・急性期医療・ 放射線治療	川崎幸病院	神奈川県川崎市幸区大宮町31-27 TEL:044-544-4611(代)
入院・一般外来 (電話予約が必要です)	さいわい鶴見病院	神奈川県横浜市鶴見区豊岡町21-1 外来予約電話番号:045-581-1417
一般外来(内科系・小児科) (電話予約が必要です)	川崎幸クリニック	神奈川県川崎市幸区南幸町1-27-1 外来予約電話番号:044-511-2112
一般外来(外科系・消化器系) (電話予約が必要です)	第二川崎幸クリニック	神奈川県川崎市幸区都町39-1 外来予約電話番号:044-511-2112
一般外来・人工透析 (電話予約が必要です)	川崎クリニック	神奈川県川崎市川崎区日進町7-1 川崎日進町ビルディング6・7・8F 外来予約:044-222-9259 透析センター:044-211-6500
一般外来・人工透析 (電話予約が必要です)	さいわい鹿島田クリニック	神奈川県川崎市幸区新塚越201 ルリエ新川崎3・4F 外来予約電話番号:044-556-2722
人間ドック・生活習慣病健診 (電話予約が必要です)	アルファメディック・クリニック	神奈川県川崎市幸区堀川町580-16 川崎テックセンター8F 予約電話番号:044-511-6116
企業健診・一般健診 (電話予約が必要です)	川崎健診クリニック	神奈川県川崎市川崎区駅前本町10-5 クリエ川崎8F 予約電話番号:044-511-6116
定位放射線治療 脳ドック	新緑脳神経外科 (横浜サイバーナイフセンター)	神奈川県横浜市旭区市沢町574-1 TEL:045-355-3600
在宅事業部 在宅医療・ 在宅看護・ 在宅介護	さいわい訪問看護ステーション さいわいヘルパーステーション 新川崎居宅介護支援事業所	TEL:044-556-4213 TEL:044-522-6871 TEL:044-522-6307
	福祉用具レンタルさいわい かしまだ地域包括支援センター	TEL:044-522-6312 TEL:044-540-3222

いま求められる医療をもっと高めたい



社会医療法人財団
石心会

石心会グループ法人事務局 TEL:044-511-2266(代)
〒212-0014 神奈川県川崎市幸区大宮町23-5 コーラルビル



表紙: 深まり行く秋
前田 義久
(川崎美術協会会員)

あおぞら

元気な毎日を送って いただくために

山本晋(川崎幸病院)、原淳(さいわい鶴見病院) 両院長に訊く

川崎幸病院／さいわい鶴見病院／川崎幸クリニック／第二川崎幸クリニック／川崎クリニック／さいわい鹿島田クリニック／新緑脳神経外科／アルファメディック・クリニック／川崎健診クリニック／石心会グループ在宅事業部
発行責任者：石井映禰 編集長：倉重成忠 〒212-0014 川崎市幸区大宮町23-5 コーラルビル 電話：044-511-2266(代) <http://www.sekishinkai.or.jp>

元気な毎日を送っていただくために

山本晋(川崎幸病院)、原淳(さいわい鶴見病院)両院長に訊く

今年、川崎幸病院は充実強化され、さらに整形外科部門が

さいわい鶴見病院に移転して大きな変化を遂げました。

山本晋院長と原淳院長にその変化とこれからについて伺いました。



病院の規模を大きくするために

——今年は、川崎幸病院では新年早々から大きな変化が続きました。

山本晋院長 1月には、心臓病センターの循環器内科でカテーテルによる心臓弁膜症、大動脈弁狭窄症の治療(TAVI)を実施するため、副センター長として桃原哲也医師が就任。4月には認可を受けてTAVIによる治療が開始されました。また心臓外科を担当する、高梨秀一郎医師が心臓病センターのセンター長兼副院長に就任しました。これによって心臓病センターが充実強化されました。

整形外科は専門性が高い領域です。竹内良平医師を中心に変形性膝関節症を治療する関節外科センターが開設され、膝周囲骨切り術という専門的治療が可能になりました。



桃原哲也医師



高梨秀一郎医師



竹内良平医師

——そして11月には整形外科部門がそっくり、さいわい鶴見病院に移転されました。

山本 確かに一つの病院としてはとても大きな変化でしたね。川崎市の第2次医療圏は北部と南部の2つがあります。私たちが属する川崎南部医療圏では、病床数が満たされており、新たな増床は認められません。そのためたくさんの患者さんを治療するには、入院治療時間の短縮や、24時間手術室を稼働させるなどが考えられます。それを実現するには医師をはじめスタッフを数多く増やし

て新たなシステムをつくる必要があります、それには時間がかかります。

そのような病院を実現するための第一歩として川崎幸病院では、まず整形外科部門を増強した上で、さいわい鶴見病院に移転するという方法をとりました。同じ石心会グループの病院同士だからできる方策です。

医療は常に向上を求めます

——326床の川崎幸病院と60床のさいわい鶴見病院とが連携することで、各診療科の幹が太くなりましたね。

山本 その通りです。私たち川崎幸病院の全職員は常にトップランナーとして医療の先頭に立ち、最先端の医療を求め続けたいと思っています。それにはいつも気を緩めず自己研鑽をしなければなりません。医療はあるところで完成するというようなものではありません。人がいる限り、病気がある限り医療にはゴールはなく、患者さんのため、社会的弱者のために向上を求め続けるという使命を持っています。

地域の医療の先頭に立つ

——地域人々の健康を守る医療は病院、クリニック、在宅医療などがそれぞれすぐれていなければなりませんね。

山本 病院は急病の方の治療の入り口であり、病状が悪化した方の治療の場でもあります。断らない救急医療と急性期治療が求められます。

急性期治療が終わり、病状が安定したり寛解された患者さんは、回復のための入院治療を他病院

でおこなうために転院していただいたり、退院後には外来治療をクリニックに通院したり、在宅医療を受けていただくことになります。

川崎幸病院では年間約1万台の救急車の救急搬送患者さんを受け入れています。しかし、まだ救急を専門に担当する医師は不足しています。来年には増やす予定です。また高度急性期病院としていつも最先端の医療ができるよう心がけます。——大きな変化を遂げた1年でしたが、来年はど

んなことを目指しますか。

山本 この1年で大きく変わった川崎幸病院ですが、ここで満足せずさらに充実を図ります。

今年も押し詰まってきました。すでにインフルエンザが流行しています。ひんぱんに手洗いとうがいをして、元気に新年をお迎えください。私たち病院職員一同は来年も、年中無休、24時間オープンで皆さんの健康維持のために働かせていただきます。

整形外科を中心としたさいわい鶴見病院

2019年11月1日、川崎幸病院の整形外科がさいわい鶴見病院に移転。原淳・整形外科部長が院長に就任しました。



さいわい鶴見病院の医療

「さいわい鶴見病院では、整形外科の患者さんを中心に診療します。現在の整形外科病院の多くは膝なら膝、腰なら腰と専門的な縦割りになっています。大学病院のように、すでに専門的診断がついた患者さんの治療なら専門化されてもいいと思います。

ところが通常の病院を受診する患者さんの多くは、まだ診断がついていないことがよくあり、どこが悪いのか分からない患者さんがいらっしゃいます。例えば膝周辺が痛い時、膝関節の問題なのか、または下肢の神経痛で腰椎など脊椎が悪いのか、いずれの診断も行う必要があります。診断から治療までを順序だてて行う必要があります。

当院の整形外科は、最適な治療をするため、初診できちんと整形外科的総合診断をしてから、治療段階で専門のセンターに振り分けています」。

整形外科の患者さんの変化と治療の専門化

原院長が川崎幸病院に入職したのは2013年です。「当時、整形外科の手術の7割ほどが救急搬送された怪我の外傷患者さんでした。外傷は整形外科治療の主な領域の一つですが、今では骨粗鬆症^{こつそしょう}治療や高齢者の転倒対策、飲酒運転の減少・

労働災害の減少など社会の工夫によって患者さんの数が減少傾向にあります。

また国民全体の健康寿命が延び、膝や股関節などの関節疾患、頸椎や腰椎などの脊椎疾患、膝の靱帯・半月板損傷や足関節・肩関節の障害などのスポーツ外傷・障害などに特化した治療が求められるようになりました。現在ではさいわい鶴見病院での手術の7割がそれらの疾患です」。

「当院の整形の高度医療である、関節外科センターの骨切り術や人工関節手術、脊椎脊髄センターの脊椎手術は、神奈川県内や関東地方、全国でもほとんどないほどの高いレベルで行っています」と、現状を話しています。

その一方で「患者さんには年配の方も多く、高血圧や糖尿病などの内科的な疾患がある方もいらっしゃいます。こうした疾患の患者さんには、手術適応でも手術をしない整形外科単科の病院があります。当院は、もともと内科でしっかりやっていた病院でそこに整形外科が加わっているので、患者さんに安心して治療を受けていただけます」。

「専門特化した高度医療の充実は非常に重要な仕事ですが、整形外科一般の治療もしっかり一つ一つ行うのも大事な仕事だと思います。疾患を丁寧^{ていねい}に大切に治療し、患者さんの健康寿命の拡大に寄与できればと考えて診療を行っています」。

今後、さらに病院全体を充実させ、皆さんに「さいわい鶴見病院の整形外科はすごいよ!」と言われるようにしたいと、抱負を話しています。



みんなの健康塾 2019年12月の予定



12月の予定から

カレンダーの●は
健康塾の日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2019年の感謝を込めて

老化・頭痛・心臓の話

12月24日(火) 14:00～15:30 (開場 13:15)

ミューザ川崎シンフォニーホール 4階 市民交流室 (150人)

※状況により予定時間より早めに開場する場合があります。

参加費無料
お申込不要

パブリック
ビューイング (90名)

和田 Dr. に学ぶ「老化を防ぐ」の心得

和田 秀樹

和田秀樹こころと体のクリニック 院長 / 川崎幸クリニック 老年科医師

安江 Dr. に学ぶ「頭痛軽減」の心得

安江 正治

第二川崎幸クリニック 脳神経外科医師 / 部長

桃原 Dr. に学ぶ「心臓病治療」の心得

桃原 哲也

川崎幸病院 循環器内科医師 / 主任部長、心臓病センター副センター長

「Dr.」とはドクターのことです。今回の3人の医師は、それぞれの医療の分野を牽引するトップリーダーの皆さんです。歳をとるとともに気になる老化、さまざまな病気が起源になる心臓病、つきまとう頭痛など、それぞれの間であまり関連は少ないものの、持病がある人は、聞いておきたいテーマです。

みんなの健康塾、今年最後を飾るにふさわしい講師を迎えての講演になります。お忙しい年末ですが、とても有意義な内容ですので、ふるってご参加ください。お待ちしております。

(今回のみんなの健康塾から、別室でのパブリックビューイングがスタートします)



2日
(月)

14:00～15:30

ミューザ川崎シンフォニーホール
4階 研修室1+2+3 (90人)

歯のセルフマネジメント

～平均より10本多く残すために～

齊藤 圭

医療法人RAISE デンタルクリニックK川崎

歯科医師 / 院長

尿トラブルで、もう悩まない!

～自分に合った治療法を選ぶ～

鈴木 理仁

川崎幸病院 泌尿器科医師 / 部長

泌尿器内視鏡治療センター長

11日
(水)

14:00～15:30

第二川崎幸クリニック
3階 会議室 (50人)

年末年始もこれで安心!

賢い食べ方 & 飲み方

久米 直子

川崎幸病院 管理栄養士 / 主任

誤嚥性肺炎ってなに?

～誤嚥性肺炎はどうしたら防げるか～

竹内 由紀

川崎幸病院

摂食・嚥下障害看護認定看護師

19日
(木)

14:00～15:30

ミューザ川崎シンフォニーホール
4階 研修室1+2+3 (90人)

腸内環境を整えよう

高橋 なつみ

健ナビ薬樹薬局 鹿島田 管理栄養士

自分の心の内を知る

～光と闇について～

稲富 正治

川崎幸クリニック 臨床心理士 / 室長

さいわい鶴見健康塾

●さいわい鶴見病院で開催している健康講座です。

18日(水) ●14:00～15:00 ゆく年くる年体にやさしい食事術

阿久井 めぐみ さいわい鶴見病院 糖尿病内科医師 山本 良 さいわい鶴見病院 管理栄養士 / 主任

会場: さいわい鶴見病院 1階リハビリテーション室 (20名) ●お問い合わせ先: さいわい鶴見病院 ☎ 045-581-1417 まで



出張講演 (主催団体の方々限定の講演となります) ●主催団体への直接のお問い合わせはご遠慮ください。

開催日	テーマ	講師	主催団体
3日(火)	健康を招くお正月の過ごし方	川崎幸クリニック内科・糖尿外来担当医師 森上 善史	南河原地区社会福祉協議会
4日(水)	子どもの上手なほめ方・しかり方	川崎幸クリニック 臨床心理士 成田 亜紀	浅田こども文化センター
5日(木)	突然起こるアナフィラキシー、あなたならどうする?!	川崎幸クリニック 看護師/主任 小児アレルギーエドクター 望月 勢津子	川崎市こども未来局
6日(金)	眠れないのは歳のせい?	川崎幸クリニック 臨床心理士/室長 稲富 正治	さいわい健康福祉プラザ
10日(火)	温活 ～カラダをあたためて病気を知らずに～	川崎幸病院 管理栄養士 佐野 真由子	野川生活学校
12日(木)	AEDを用いた心肺蘇生法	川崎幸病院 看護部/科長 宮口 貴子 川崎幸病院 診療放射線技師/副主任 市川 大祐 川崎幸病院 看護師 安西 俊哉	小黒恵子童謡記念館
13日(金)	ママセラピスト直伝! 子育て期のセルフケア	川崎幸クリニック 認定理学療法士(地域理学療法) 猪田 佐和乃	子育て支援センターできの

※講演テーマ、講師は予告なく変更になる場合もあります。最新の情報は川崎幸病院ホームページ <http://saiwaihp.jp/> でご確認ください。

みんなの健康塾についてのお問い合わせ先: TEL.044-542-7007

認知症と共に生きる ～あなたの理解が未来を変える～

杉山院長の新春講演 1月27日(月) 14:00～16:00

杉山孝博・川崎幸クリニック院長が2020年1月27日(月)、川崎市産業振興会館1Fホール(川崎市幸区堀川町66-20)で講演します。

第一部は杉山院長が監修し、千葉エデュケーショナルが企画制作した映画『はじめて認知症の人に接するあなたへ』を上映します。

第二部は、杉山院長による講演「認知症と共に生きる」です。

開場は午後1時15分の予定で、先着478人の定員。無料で参加できます。



みんなの健康塾レポート

さいわい糖尿病デー

11月14日の「世界糖尿病デー」にちなんで、11月9日(土)川崎幸クリニック5階で「さいわい糖尿病デー」が、15日(金)にはさいわい鶴見病院でも「さいわい鶴見病院糖尿病デー」が催されました。

糖尿病は血糖値が慢性的に高くなる病気です。



日本人の2人に1人は糖尿病になりやすい体質で、食事や運動などの生活習慣

の蓄積によって症状が表れます。

糖尿病を放置すると、網膜症、腎症、神経障害を発症しやすくなります。ほかにも心筋梗塞や脳梗塞、がん、認知症など、多くの疾患が発症します。しかし、糖尿病だからといって過度に恐れる必要はありません。適切な治療を受ければコントロールが可能です。

9日の川崎幸クリニック5階の会場では150人



の皆さんが参加しました。また、15日のさいわい鶴見病院の会場には61人の方が参加しています。

展示、測定、体操、相談

会場では栄養科展示ブース、コスモス友の会展示ブースを設置するとともに、測定会では、AGEs測定、握力測定、筋力測定、血糖値測定、フットチェックを実施しました。糖尿病予防体操教室では20分の講座を6回行いました。

川崎幸クリニックの内科・糖尿病外来担当医師である安島美保、森上善史医師による糖尿病相談コーナーや管理栄養士による栄養相談コーナーが設けられ、皆さんが抱える個別の問題についてアドバイスをしました。



参加者からのいろいろな感想

今回は、比較的若く、初めて参加された方が多く、糖尿病の予防についての関心が高かったのが特徴でした。

「生活習慣病や糖尿病など、何に気をつけたらいいのか具体的にわかりました」、「体操教室はとても楽しく学べました」、「食品の展示がわかりやすく、勉強になりました。食物繊維の摂取の仕方がよくわかりました。日々の食事に取り入れます」「測定の結果が自分で予想していたものではなく、すぐに相談コーナーで相談しました。わかりやすく教えていただき、新しい知識も得ました」、「色々な測定ができて、有意義でした。でも、血糖値は高め、筋力は低下気味、AGEsは高め……、日々気をつけます」



さいわい鶴見病院 糖尿病デー

1月から11月20日までの参加者数

今年も間もなく終わりですが、12月号ですので参加者数を調べました。2019年1月～11月20日現在の累計人数は、16,943人です。12月中に1万7千人台になります。

また、途中で「かわさき健康塾」から「みんなの健康塾」に名前が変わりましたが、累計で13万6,750人となっています。

第39回 幸区民祭に参加

10月19日、20日の2日間、幸区役所で催された幸区民祭に川崎幸病院のスタッフが参加しました。

ブースでは血管年齢測定や子ども向けの内臓パズルを実施し、ステージでは心肺蘇生法の普及活動としてミドレンジャーがショーを演じました。

ブースへの総来訪者は2日間で約1千人でした。



箸休め

⑥



縁起担ぎ

縁起担ぎの「縁起」とは物事の吉兆の印であり、縁起担ぎは、縁起の良し悪しを必要以上に期待することです。縁起が逆さ言葉で「ぎえん」となり、それから「験

担ぎ」という言葉が生まれたようです。

さて正月の料理は、正月早々に「切る」のは縁起が悪いとして大晦日までに準備を済ませました。正月料理には験担ぎが込められています。

関東に多い角餅は、のし餅を切ったもので、その昔武士たちが戦の前に「敵をのす」思いを込めて雑煮に入れて食べました。丸餅は、この一年が「角が立たずに円満に過ごせますように」と食べます。

雑煮に入れる野菜は、青菜と餅を箸で持ち上げ



て「名を持ち上げる」、青菜を最後に食べて「名を残す」に通じます。里芋は親芋から小芋が次々と増えるので子孫繁栄。

おせちなどに使われる魚には鮭、ブリ、タイがあります。

鮭は、卵をたくさん産むこと

から「子宝」に通じ、赤い色がめでたい。ブリは主に西日本で使われ、出世魚です。タイは「めでたい」につながります。

おせちは重箱に詰めますが、壺の重は祝い肴と口取りです。数の子は、子孫繁栄。田づくりは、イワシは畑の肥料にしたことから豊作祈願。黒豆は、黒く日焼けるほどマメに勤勉に働き、元気に暮らせるようにとの願い。たたきごぼうは、ごぼうのように根を深く張り、家が代々続くように。

かまぼこは、紅白の半月型で、半月は日の出、紅は魔除け、白は清浄をあらわします。伊達巻はその形が巻物の書物に似ていることから、知識や文化の発達を願います。昆布巻きは、「こんぶ」という呼び方が「よろこぶ」に通じます。栗きんとんは、見た目が黄金色に輝く財宝に見られ、豊かさや蓄財を願います。

何と欲張りに験を担いだ正月料理でしょう。それだけ人々の暮らしが大変だったのかもしれない。



石心会グループ 年末・年始のお知らせ

各医療施設の年末年始休診の予定です。

		2019年12月			2020年1月		
		29 (日)	30 (月)	31 (火)	1 (水)	2 (木)	3 (金)
川崎幸病院 ● 24時間 365日 救急診療対応		●	●	●	●	●	●
さいわい鶴見病院 (外来)		休	←				
川崎幸クリニック ● 休日診療体制	内科・小児科 診療	●	●	●	●	●	●
	その他の診療科	休	←				
第二川崎幸クリニック ※診療科、医師によっては12/28、1/4 休診になる場合がありますので予約センター ☎ 044-511-2112 にお問合せください。		休	←				
川崎クリニック 外来		休	←				
さいわい鹿島田クリニック 外来		休	←				
新緑脳神経外科		休	←				